

徳島県における ローカル 5 G の取組について

令和 4 年 8 月 2 5 日

徳島県 デジタルとくしま推進課

1 ローカル5G導入経緯

【課題】

- ・人口減少が進み、医療、教育、農業等、様々な分野で課題を抱える地方でこそ、5Gの活用が求められている
- ・一方で5Gのサービス提供エリアは未だ限定的

【総務省の取組】

R元.12.24

自治体等が地域のニーズに応じて、自らの施設でアンテナを立て、柔軟に構築できる**ローカル5G免許を創設**

【徳島県の取組】

R2.3.30

自治体では**全国初**となる**ローカル5G予備免許取得**

R2.9.24

ミリ波（28GHz帯）**ローカル5G本免許取得**

R3.2.26

自治体では**全国初**となる**サブ6（4.8GHz帯）ローカル5G本免許取得**

R4.8 現在

県内**11箇所**に無線基地局の**整備を拡大**

2 ローカル5G導入分野

【農業分野】

- ・農林水産総合技術支援センター SUB6 (R3.2.26免許取得)

【産業分野】

- ・工業技術センター SUB6 (R3.3.29免許取得)
- ・中央テクノスクール 28GHz (R2.9.24免許取得)
SUB6 (R3.4.27免許取得)

【河川監視】

- ・那賀川 SUB6 (R3.4.27免許取得)
- ・海部川 SUB6 (R3.4.27免許取得)

【医療分野】

- ・県立中央病院 SUB6 (R3.3.29免許取得)
- ・県立海部病院 SUB6 (R3.3.29免許取得)
- ・県立三好病院 SUB6 (R3.3.29免許取得)

【行政分野】

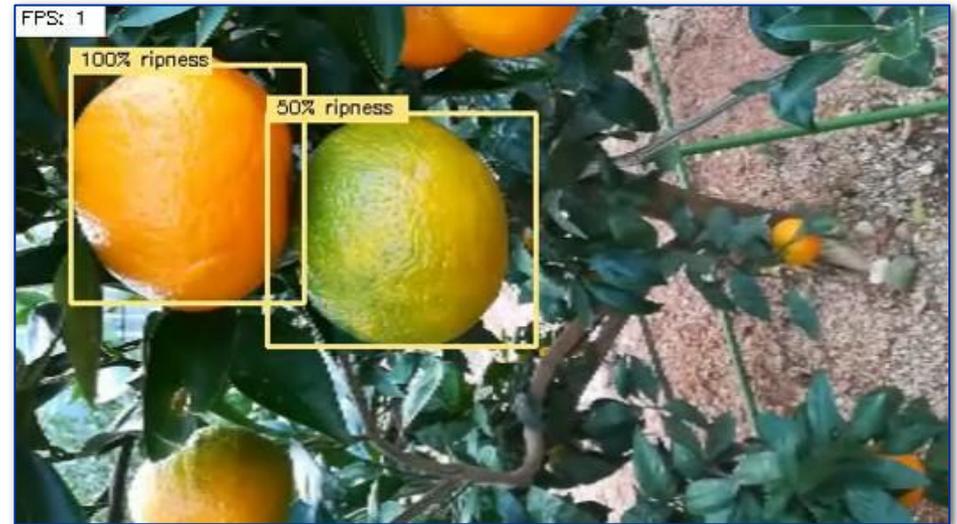
- ・県庁舎 28GHz (R2.9.24免許取得)
SUB6 (R3.4.27免許取得)
- ・南部総合県民局 (美波庁舎) SUB6 (R3.4.27免許取得)
- ・西部総合県民局 (美馬庁舎) SUB6 (R3.4.27免許取得)

3 農業支援

- ・ 高品質生産や作業の省力化を可能とする「スマート技術の開発」
- ・ 眼鏡型ディスプレイ端末「スマートグラス」を用いて学生と教員が視点を共有する実習の実施



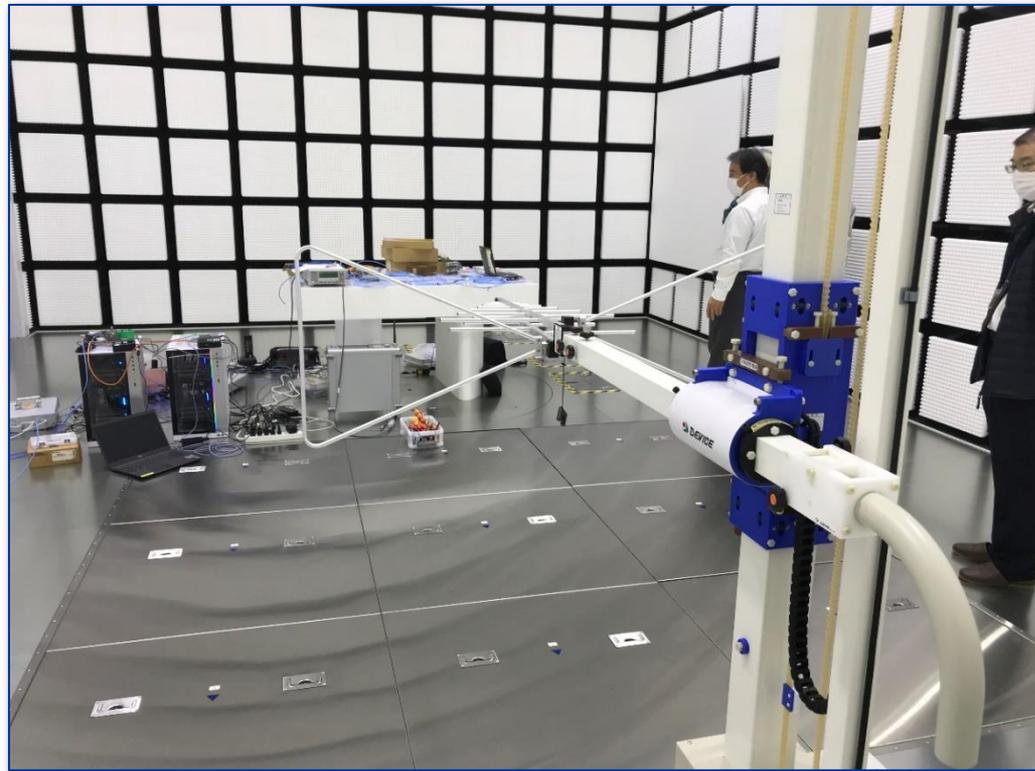
スマートグラスを用いた実習



A | 画像解析による果実の熟度判別

4 産業支援

- ・ 5G通信を介した試験・実験を行う「実証フィールド（オープンラボ）」の設置
- ・ 県内企業への5G導入促進と技術支援の実施
- ・ 「5Gインフラ」整備に対応できる人材の育成



工業技術センターの電波暗室
5G対応無線機器の測定依頼

5 河川監視

- ・ 県管理河川の夜間対応高精細映像を県土防災システムにリアルタイム伝送、インターネットやCATVに配信し、地域住民の避難判断に活用



河川監視カメラ映像



6 医療分野

- ・ 救急患者等の医療情報共有や地域の医療機関の遠隔診療を推進



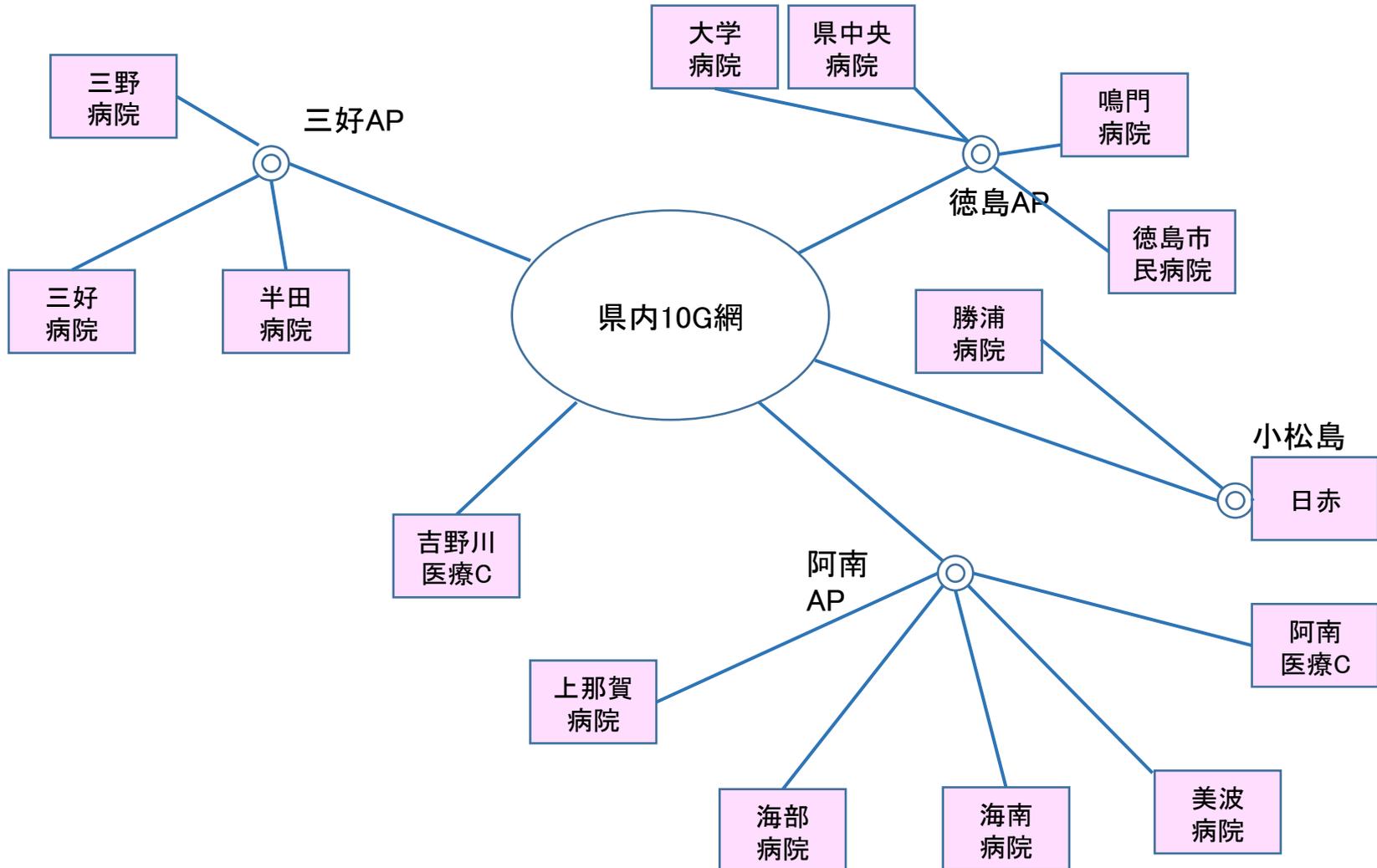
5 G遠隔診療



全国初の8K手術映像共有実証（中央病院・三好病院間）

7 徳島医療コンソーシアムへの展開

- ・ 毎秒10ギガビットの超高速基幹回線を整備、県内全域にAPを設置
- ・ 「徳島医療コンソーシアム」15病院へ順次展開



8 更なる展開へ① (キャリア5Gとの共存)

R2.1.14~2.14

5G商用基地局による全国初の遠隔医療実証実験 (中央病院と海部病院)

R2.6.12

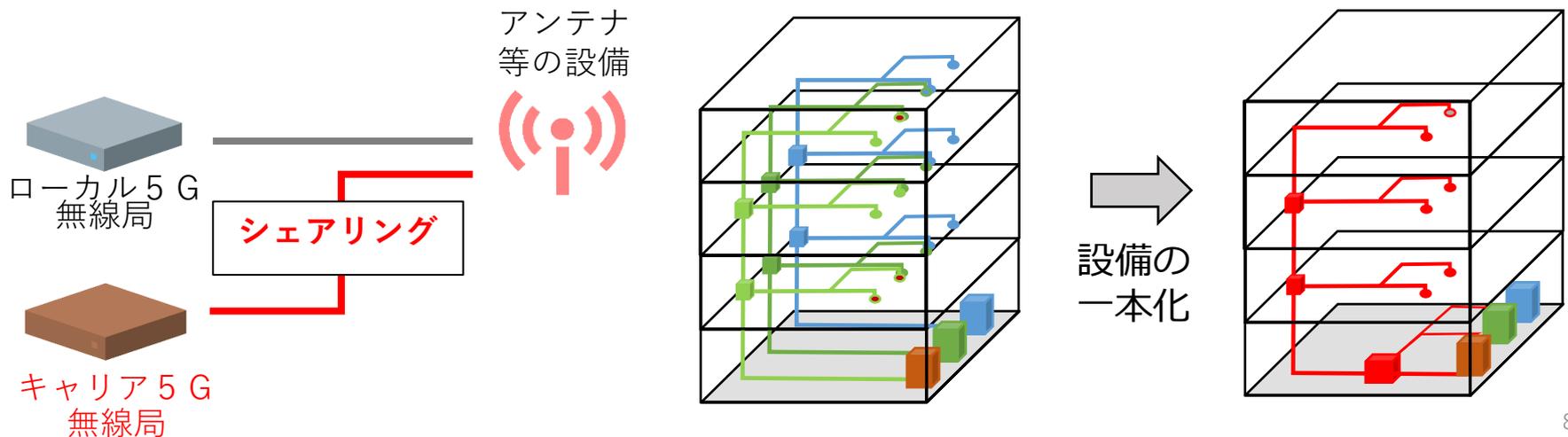
NTTドコモ株式会社と「『とくしまSociety5.0』の実装に向けた連携協定」締結

R3.3.19~

「5G遠隔医療支援システム」県立3病院に導入開始

R4年度

「安定性 (ローカル5G)」と「広域化 (キャリア5G)」を両立した遠隔医療を実現するため、全国初となる「インフラシェアリング」を導入予定



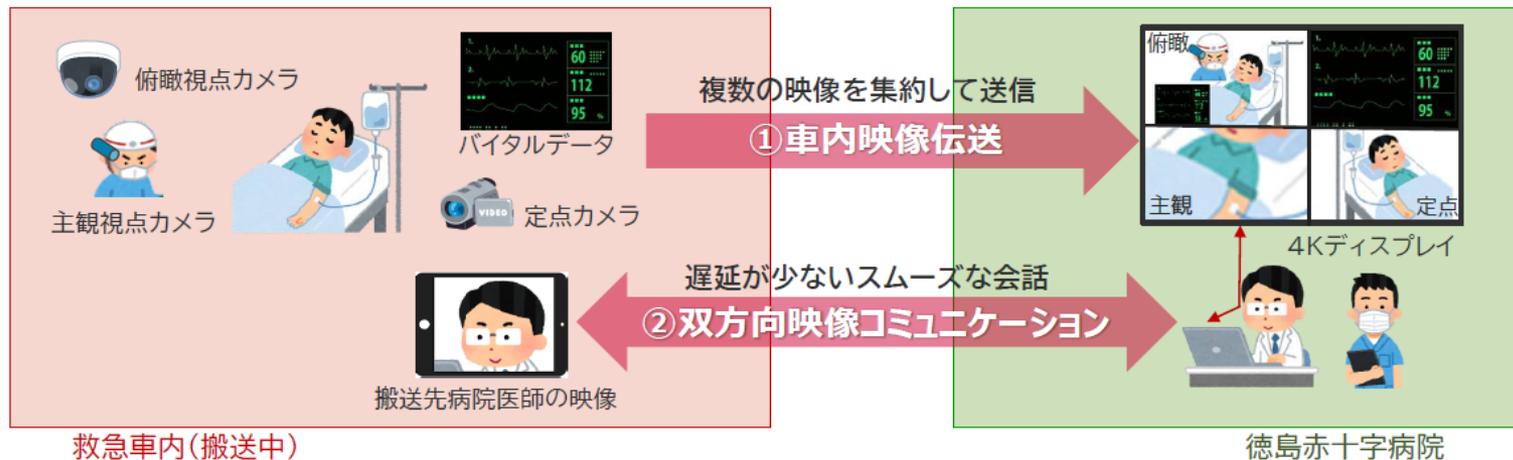
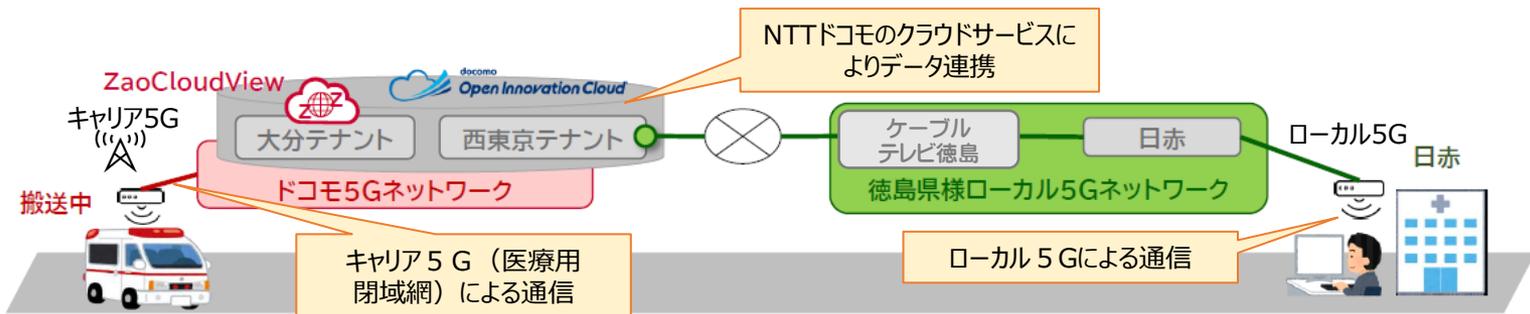
9 更なる展開へ②（救急医療DX）

R4.8

総務省「課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」に
本県を含むコンソーシアム提案の「**救急医療DX**」事業が採択

【事業概要】

- 救急車と病院間を「**キャリア5G**」及び「**県ローカル5G**」で接続し、
救急患者の「**4K映像・心電図等データ**」を病院と共有
- 病院間におけるローカル5G医用テレメータの電波混信対策





徳島から
ローカル 5Gで
地方創生を実現！